

せんそうがあったころ（60年ぐらい前）

せんそうがはげしくなる前は、遠足にも行っていました。そのころの子どもたちは、くつではなく、わらじをはいていました。



役場の近く

1943年（昭和18年）ごろから、せんそうがはげしくなり、食べものが少なくなりました。子どもたちも、勉強するだけでなく、食りょうをつくる仕事をするようになりました。



小学生の^{かい}開こんさぎょう

畑に出て、いもや豆などの食べものをつくるが多くなりました。

くうしゅうがはげしくなると、かくれるために、防空ごうを、あちこちにほるようになりました。



小学生の^{ぼうくう}防空ごうほり